

報道関係者各位

2026年1月28日
YOSHIKI PR事務局

なぜ今、YOSHIKIはクラシックを選ぶのか
YOSHIKI、メディアアーティスト・落合陽一と生対談
明日、1月29日（木）18:00より「YOSHIKI CHANNEL」緊急生放送決定

日本時間1月29日（木）18:00より、YOSHIKIが自身の公式配信チャンネル「YOSHIKI CHANNEL」にて、研究者でメディアアーティストの落合陽一をゲストに迎え、生対談を行うことが決定した。本配信は、1月25日（日）に放送されたYOSHIKI CHANNELの生配信中に、YOSHIKI本人が急遽追加放送を発表したことにより実現したもので、落合陽一氏との対面による生対談が東京都内で行われる。配信は、ニコニコチャンネル（日本）およびYouTube Channelメンバーシップ（日本を含む全世界）にて生放送される。

両者は、2025年に開催された大阪・関西万博において、YOSHIKIが落合氏の手がけたパビリオンを訪れたことをきっかけに、AIやアート、表現の未来について番組内で意見を交わしてきた。今回はYOSHIKIが米・ロサンゼルスより帰国中というタイミングも重なり、満を持して対面での生対談が実現する。

落合陽一は、筑波大学准教授として研究活動を行う傍ら、メディアアーティストとしても国内外で高い評価を受けており、デジタル技術、AI、身体性、アートを横断する独自の表現で知られる。大阪・関西万博ではテーマ事業プロデューサーを務め、シグネチャー・パビリオン「null²（ヌルヌル）」を手がけたことでも大きな注目を集めた。

今回の対談では、「なぜ今、YOSHIKIはクラシックを選ぶのか」という問いを軸に、落合陽一との対話を通じてその核心が紐解かれていく。AIが存在する未来を見据えた議論から、「アートと人生」という普遍的なテーマにまで踏み込み、表現の本質を探っていく時間となりそうだ。

YOSHIKIは4月、東京にてクラシカルコンサート「YOSHIKI CLASSICAL 2026 覚醒前夜—Tokyo 3 Nights 世界への第一章」の開催を控えている。AI表現とも向き合い続けてきたYOSHIKIが、それでもなおクラシカルコンサートにおいて、自身の演奏による“生の音”を届けることにこ

だわる理由が、本対談の中で明らかになっていく。テクノロジーが進化する時代だからこそ浮かび上がる、音楽の原点やライブ表現の価値にも注目が集まる。

YOSHIKI CLASSICAL 2026

日程：2026年4月3日（金）、4日（土）、5日（日）

会場：東京ガーデンシアター

詳細：<https://jp.yoshiki.net/info/7740/>

【YOSHIKI CHANNEL】

なぜ今、YOSHIKIはクラシックを選ぶのか

YOSHIKI、メディアアーティスト・落合陽一と生対談

YouTube Channel メンバーシップ（日本を含む全世界）

- ・日本語放送 <https://youtube.com/live/VsDg021m-Cg>
 - ・英語同時通訳放送 <https://youtube.com/live/lxrCCHdXqN4>
- ・ニコニコチャンネル（日本）
<https://ch.nicovideo.jp/yoshikiofficial/blomaga/ar2227226>

<YOSHIKI 関連リンク>

YOSHIKI Official Site : <https://jp.yoshiki.net/>

YOSHIKI Official Instagram: <https://www.instagram.com/yoshikiofficial/>

YOSHIKI YouTube Channel : <https://www.youtube.com/yoshikiofficial>